

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はびねす			
○保護者評価実施期間	R7年11月24日 ～ R7年12月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R7年11月24日 ～ R7年12月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休暇を活用し、普段の利用時には経験できないような体験を出来るイベントに取り組んでいる。	シュノーケリングや遊園地での郊外活動や工作、クッキング等落ち着いた活動と運動系の活動等どちらも体験できるようにイベントの提供を行っている。	新しい挑戦が出来るように同じ場所でも取り組む内容を変える等の工夫を施した体験を提供できるサイクルを作っていきたい。
2	広場を使ってスポーツの基礎練習を取り入れ技術向上を出来る機会を設けている。	初めて取り組む利用者も抵抗なく参加できるように、ペアや少人数編成で行う等している。また、コートや体育館を借りて実践試合に取り組むことで練習の成果を発揮できる場を設けている。	利用者が練習の成果をより実感できるように、祝日や長期休み等を活用してスポーツ大会を行う等のイベント企画をしていきたい。
3	自由時間とグループ活動の時間を設け、活動ごとに合う支援を図っている。 自由時間→自己発信や自己表現をする力を身につける グループ活動→協調性、切り替える習慣を身につける	様々な活動に興味を持って取り組むことが出来るようなプログラムの作成、支援に努めている。 達成感を感じられるよう、工作や壁画など長期的に取り組む活動も取り入れている。	子どもたちの挑戦してみたいことを祝日、長期休みを活用して実現できるよう努めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パニックを起こしたときの静養室がない。	部屋の構造の関係等により、作成が難しいのが現状である。	2階の部屋が利用出来るため、有効活用していく。
2	室内の角や運動場の枠組みのつなぎ目等ケガをする可能性がある場所が見受けられる。	コーナード等でケガのリスクを減らせるよう努めているが部屋の構造上角を完全に排除することが難しい部分がある。	角を守ることが出来る場所は出来る限りカバーをする。
3			